
三島市長定例記者会見資料

令和3年8月

月間行事予定



満水となった楽寿園「小浜池」

日時 令和3年7月21日（水）

午前10時30分～

場所 三島市役所 本館2階 第二会議室

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について

新型コロナウイルスのワクチン接種につきまして、本日（7月21日）時点の状況をお知らせします。

ここがポイント！

- 7月19日現在で、対象者（65歳以上）の83.1%以上となる26,776人が1回以上の接種が完了。
（2回接種済の方は54.7%、17,608人）
- 49歳～12歳の方には、7月末までに年齢の高い方から順次郵送で送付。
- 7月15日から再開。接種予約は、年齢の高い順に段階的に受付。
- 8月の集団接種会場で、歯科医師による接種が開始。

1 現在の接種状況について

7月19日現在で、65歳以上の方の83.1%にあたる26,776人について、1回以上の接種が済みであり、7月末までに希望する高齢者すべての接種を完了する見込みです。

2 49歳以下の方への接種券の発送予定について

基礎疾患を有する方、また、基礎疾患のない50歳までの方には6月末までに接種券を郵送しております。12歳から49歳までの方には、7月中旬から月末までに年齢の高い方から順次郵送でお送りいたします。接種券が届きましたら、ご自身の予約可能時期を市ホームページで確認していただき、ご予約をお願いします。

3 接種予約について

7月のワクチン供給量が大幅に減少する見込みとなったことから、7月2日から7月14日まで、接種予約の受付を一時停止し、予定していた接種会場を縮小するなど、接種体制の見直しを行いました。これに伴い、予約済の方の予約日時会場の変更や、1回しか予約していない方への2回目の予約日時会場の決定（合計約1,400人）をしました。7月15日に予約を再開しましたが、現在予約枠は全て埋まっています。今後のワクチン供給状況を踏まえ、順次予約を受付けていきます。最新情報は随時、市公式ホームページ、LINEやメール、コールセンターなどでお知らせいたします。

4 歯科医師による接種について

8月から集団接種会場において歯科医師による接種を開始します。歯科医師が接種に加わることでさらなる接種体制の強化が図られます。

市制 80 周年記念 没後 40 年 五所平之助監督作品上映会

～戦前から戦後にかけて、多くの名作映画を製作～

没後 40 年を迎えた映画監督五所平之助氏。映画監督として活躍する傍ら、文芸三島の選者、三島市民サロンでの活動など三島市の文化振興に大きく貢献された五所平之助氏の業績を次世代につなぐため、五所氏監督作品の上映会を開催します。

ここがポイント！

- 五所平之助氏の最後の作品となった「わが街三島ー1977年の証言」を始め、3本の映画を上映します。
- 五所平之助氏は昭和28年に三島に移り住み、三島の人々と気さくに交流して三島市の文化振興に大きく貢献されました。

1 上映会の概要

- | | | |
|----------|----------------------|------------------------|
| (1) 日時 | 8月21日(土) 午後1時～5時(予定) | 開場:正午 |
| (2) 会場 | 三島市民文化会館 小ホール | |
| (3) 上映作品 | 『わが街三島ー1977年の証言』 | (製作:三島市民サロン 昭和52年 33分) |
| (予定) | 『糸あやつり人形劇映画 明治はるあき』 | (製作:博物館明治村 昭和43年 72分) |
| | 『煙突の見える場所』 | (製作:新東宝映画 昭和28年 108分) |
| (4) 定員 | 300人 | |
| (5) 観覧料 | 無料(入場整理券が必要) | |

※入場整理券は8月2日(月)から三島市文化振興課及び三島市民文化会館で配布

2 五所平之助氏について

明治35(1902)年～昭和56(1981)年。東京生まれ。大正12(1923)年松竹蒲田撮影所に入る。昭和3(1928)年に監督した『村の花嫁』が注目を浴び、昭和6(1931)年には日本初の本格的トーキー作品『マダムと女房』を製作。昭和8(1933)年のサイレント映画『伊豆の踊子』、昭和9(1934)年『生きとし生けるもの』が次々とヒットし、名監督の名を不動のものとする。『煙突の見える場所』(昭和28年/ベルリン国際映画祭国際平和賞受賞)、『黄色いカラス』(昭和32年/ゴールデングローブ賞外国映画賞受賞)など。日本映画監督協会理事長を16年にわたって務めた。『わが街三島ー1977年の証言』が最後の監督作品。俳人としても知られ、「五所亭」と号して多くの俳句を残している。

3 その他

- (1) 『わが街三島ー1977年の証言』は監督である五所平之助氏をはじめ、小出正吾氏、大岡信氏が出演しています。
- (2) 『文芸三島』俳句部門の選者を創刊号(昭和54年)から第3号(昭和56年)まで務められました。
- (3) 国立映画アーカイブで「没後40年 映画監督五所平之助」と題し、10月19日(火)～11月23日(火・祝)に五所氏監督作品が上映される予定です。



【自宅近くにて/昭和34年】

令和元年 台風19号被災から復旧工事完了を目前に控え

「国指定史跡 山中城跡」の被災について

6月30日からの長雨の影響により、7月2日、山中城跡内の5ヶ所で堀法面が崩落する等の被害が発生しました。

令和元年10月の台風19号において8ヶ所が堀法面の崩落等の被害を受け、令和2年度から4年度までの3ヶ年の計画で復旧を進めていた中で、再び被災してしまいました。

ここがポイント！

- 大雨の影響により7月6日から16日まで入場禁止としていましたが、現在は通常通りの見学ができます。
- 復旧に向け、文化庁と協議中です。

1 被災箇所 三ノ丸西堀、田尻ノ池北側、二ノ丸西堀北端、西ノ丸西側2箇所

2 事業の詳細

令和元年10月12日 台風19号により8ヶ所が被災

令和2年度から4年度の3ヶ年で復旧を計画

令和2年度 復旧設計委託

法面復旧土工事、池への流入土砂の浚渫

令和3年度 法面復旧土工事、復旧箇所の芝張り



三ノ丸被災前（6月末、北から撮影）

3 被災箇所図



三ノ丸被災後（7月6日、南から撮影）

三島市教育推進部文化財課 〒411-0035 静岡県三島市大宮町1-8-38 担当：寺田
TEL. 055-983-2672 FAX. 055-983-0870 e-mail : bunkazai@city.mishima.shizuoka.jp



「第6回三島市景観賞」候補の募集

三島市では、市内の優れた景観の創出・再生や景観に寄与する活動を促進するため、第6回目となる三島市景観賞の候補を募集します。

ここがポイント！

- 平成18年より3年おきに開催しており、今回で第6回を迎える。
- 市内の景観形成に寄与する建築物・看板等や、景観の形成や保護を行う個人・団体の活動が対象。
- 今回より看板等を対象とした「広告物部門」を新設。

1 日時・場所

募集期間：令和3年8月1日（日）から8月31日（火）まで

応募先：三島市役所都市計画課

表彰：令和3年12月中旬予定

2 事業の詳細

景観賞候補の選考基準

- ・新しい景観を創出し、地域の景観形成に寄与しているもの。
- ・水や緑を活かし、自然景観を創出しているもの。
- ・歴史的な景観を再生し、なつかしい景観づくりに寄与しているもの。
- ・デザインや景観に対する工夫や配慮がなされ、地域に潤いとゆとりを与えるもの。
- ・景観の形成に関し、一定の活動において貢献が認められる者及び団体。

3 これまでの経過、補足情報

第5回最優秀賞「山田川グリーンツーリズム」



優秀賞「TICA（ティカ）」



優秀賞「源兵衛川と水辺の径」

三島市計画まちづくり部都市計画課 〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：松本
TEL. 055-983-2631 FAX. 055-973-7241 e-mail : toshikei@city.mishima.shizuoka.jp

情報モラル教育のさらなる推進

令和3年度親と子のスマホ・SNS 安心情報ネットワーク会議総会

～ 地域一体となって子どもたちが安心・安全に暮らせる環境づくり ～

三島市では、スマートフォンの急速な普及によるSNS等でのインターネットトラブルから子どもたちや保護者を守るために、各団体が情報モラル教育を行っています。

この会議では、地域一体となって子どもたちが安心して暮らすことができる環境づくりを行うために、市内で情報モラル教育等を行う団体同士がネットワークを構築し、さらなる取組の強化を図ります。

ここがポイント！

- 情報モラル教育に地域一体となって取り組みます。
- この取組が令和2年度には「情報通信月間」東海総合通信局長表彰を受賞しました。
- 相談機関や市民ボランティア等が活動状況を共有することで各団体の活動を強化します。
- 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）による「2021年版 スマホ・パソコン利用者を狙う騙しの手口」を題材とした講演を行います。

1 開催日程

- 日時** 令和3年8月12日（木） 午後3時00分から午後5時00分まで
- 場所** 三島市役所本館3階 第1会議室
- 内容**
- ・スマートフォンやSNSなどに関する最新動向を共有し、意見交換する定例会の開催
 - ・参加団体の取組状況報告
 - ・講演 「2021年版：スマホ・パソコン利用者を狙う騙しの手口」
講師 独立行政法人情報処理推進機構（IPA） 加賀谷伸一郎 氏

2 目的

子どもたちを日々見守る活動をしている団体同士が情報共有を図ることにより、地域一体となってスマートフォンやSNSなどのインターネットトラブルから子どもたちとその保護者を守るとともに、正しい情報モラルをもった人材育成を図ること

3 参加団体

- (1) 相談・教育支援機関
三島警察署（少年サポートセンター）、三島市人権擁護委員会
三島市民生委員児童委員協議会、三島市社会教育委員会、市民生活相談センター
- (2) 市民ボランティア団体
三島市PTA連絡協議会、三島スマホ安心アドバイザー
- (3) 情報セキュリティ専門機関
一般社団法人セキュリティ対策推進協議会（SPREAD）、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
- (4) 行政機関
総務省東海総合通信局
三島市市長部局（広報情報課（事務局）、福祉総務課）
三島市教育委員会（学校教育課、生涯学習課）

子どもたちから見た「わたしの街」で、地域を盛り上げます

いずっぱこ絵画展・いずっぱこ歴史新聞 作品募集

～駿豆線沿線地域活性化協議会 主催～

駿豆線沿線地域活性化協議会（三島市、函南町、伊豆の国市、伊豆市、伊豆箱根鉄道（株））では、子どもたちの地域への愛着醸成と理解促進を目的に、下記のとおり、いずっぱこ絵画展、いずっぱこ歴史新聞の作品を募集します。

ここがポイント！

- 「わたしの街」がテーマの絵画と新聞を募集。
- 新聞展は初開催、絵画展は前身の良い子の絵画展を含めると今年で44回目の取り組み。
- 絵画展の入選作品は、絵画展電車（10月運行予定）の中吊りでの展示、優秀賞受賞作品はヘッドマーク、来年のポスターに使用します。
- 新聞の入選作品は、協議会で作成するパンフレットへの掲載等で使用します。

1 応募期間

令和3年8月1日（日）～9月23日（木・祝）

2 応募方法

三島駅・三島広小路駅・大場駅・伊豆長岡駅・修善寺駅もしくは伊豆箱根鉄道本社に持参
※必ず応募要項を確認の上、ご応募ください。

3 対象

小学生以下（居住地等は問いません）

4 テーマ

- ・絵画展 「わたしの街といずっぱこ」
- ・歴史新聞 「わたしの街の歴史」



【「絵画展電車」の中吊り部分】

5 作品活用方法

- ・絵画展 入選した作品（約70点）は、10月運行予定（運行期間 調整中）の「絵画展電車」の中吊り部分に掲載します。
さらに優秀賞に選ばれた作品は、電車のヘッドマークと来年のポスターに使用します。
 - ・歴史新聞 入選した作品は、協議会で作成するパンフレットに掲載します。
- ※いずれも選考は駿豆線沿線地域活性化協議会観光部会にて行います。

6 特典

- ・応募者 オリジナルグッズ詰め合わせをプレゼント
- ・絵画展入選者 絵画展電車運行期間に限り1往復有効な「入選者観覧乗車証（大人1名+子ども1名）」をプレゼント

- ・ 歴史新聞入選者 駿豆線 1日乗り放題乗車券「旅助け」大人1枚+子ども1枚セット引換券をプレゼント

7 これまでの経過 等

- ・ 絵画展 前身の「良い子の絵画展」を含めると今年度で44回目の取り組み。例年多くの力作が寄せられます。
R1年度までは学校を通じた募集をしていましたが、さらに多くの子どもたちからの作品を募るため、R2年度から一般公募に変更しました。
- ・ 歴史新聞 今年度初めて行う取り組みです。来年度の大河ドラマの主人公が伊豆の国市ゆかりの北条義時であることから、沿線地域の歴史に注目が集まっており、「歴史」を切り口にした子どもたちによる地域の魅力の発見に繋がることを期待しています。
テーマは、沿線地域の歴史に関することならば、時代などは問いません。自由に設定をしてください。

8 主催

駿豆線沿線地域活性化協議会 観光部会

三島市、函南町、伊豆の国市、伊豆市の観光担当課及び観光協会と伊豆箱根鉄道㈱で組織しており、沿線地域で連携・協力することで観光振興および地域活性化を図り、魅力ある地域づくりと交流人口の増加を目指して活動しています。

駿豆線沿線地域活性化協議会 観光部会（事務局 三島市産業文化部 商工観光課）
〒411-8666 静岡県三島市北田町4-47 担当：伊藤
TEL. 055-983-2656 FAX. 055-983-2754 e-mail : syoukou@city.mishima.shizuoka.jp

三島市制施行80周年・郷土資料館開館50周年企画展

「三島のはじまり 旧石器～古墳時代」開催

～3万年前の三島、お見せします！～

三島市制施行80周年・郷土資料館開館50周年を記念し、
旧石器時代から古墳時代中期までの三島の歴史について、考古資料を通じてご紹介します。
皆さまが暮らす地域のはるか昔の景観へ、思いをはせてみませんか？

ここがポイント！

- 市や県が所蔵する考古資料約140点を展示！
- 最新の研究状況を踏まえた講演会を開催！

1 日時・場所 等

令和3年7月22日（木・祝）～12月19日（日）

郷土資料館 企画展示室

開館時間 午前9時～午後5時（4～10月）／午前9時～午後4時30分（11月～3月）

※楽寿園入園は閉館30分前まで

休館日 月曜日（祝日の場合は翌平日）、ただし11月は無休

入館料 無料、ただし楽寿園入園料として15歳以上300円（学生は学生証提示にて無料）

アクセス 三島駅南口から徒歩5分、市立公園楽寿園内

2 関連事業

- ・講演会（事前申込制、7月27日から受付開始、先着順）

①「弥生時代の三島市内の様子」（定員43名）

講師：岩本 貴氏（伊豆の国市文化財課）

日時：9月18日（土） 14:00～16:00

会場：三島市民文化会館ゆうゆうホール 3階大会議室

②「前方後円墳と古代伊豆の原像（仮）」（定員70名）

講師：滝沢 誠氏（筑波大学人文社会系）

日時：11月28日（日） 14:00～16:00

会場：三島市民生涯学習センター 3階講義室

- ・郷土教室「古代の暮らし」（申込不要）

火おこし※1や勾玉づくり※2の体験、土器当てクイズに挑戦！

日時：11月20日（土）

10:00～12:00、13:00～14:30

会場：三島市郷土資料館 ※1：雨天中止、※2：雨天中止・先着50名



【陰洞B遺跡出土土器】縄文時代



【犬進舎遺跡出土勾玉】古墳時代





30歳からの教育講座

令和3年度 みしま教養セミナー

コロナと生きる—自分を守り、大切な人も守るために—

学習活動を通じて生きがいを持って社会に参加することを目的に「みしま教養セミナー」を開催しています。日本大学短期大学部と順天堂大学保健看護学部から講師を招き、「コロナと生きる—自分を守り、大切な人も守るために—」をテーマに多彩な学習機会を提供しておりますので、是非ご参加ください。

ここがポイント！

- 日本大学短期大学部と順天堂大学保健看護学部の教授陣を招いての無料の講座です。
- 対象は市内在住、在勤の30歳以上成人です。
- 今年のテーマは、「コロナと生きる—自分を守り、大切な人も守るために—」です。新型コロナウイルスの正しい知識と今後の向き合い方について、講師の先生方に教えていただきます。

1 日時・場所 等

10月8日（金）～10月28日（木）全3回 各回午後2時～4時
市民生涯学習センター 3階講義室

対象：市内在住、在勤の30歳以上 75人（応募多数時抽選）

※座席の間隔を空けるなど、新型コロナウイルス感染予防及び拡大防止に努めます。

費用：無料

2 事業の詳細 等

募集：8月27（金）まで受付（広報みしま8月1日号掲載）

テーマ：「コロナと生きる—自分を守り、大切な人も守るために—」

10月8日（金） 新型コロナウイルス感染症対策～見落としやすいポイント～

講師：高橋 敦彦さん（日本大学短期大学部 教授）

10月21日（木） コロナをめぐる差別や偏見を考える

～なぜわれわれはコロナを正しく怖れられないのか～

講師：長沼 淳さん（順天堂大学保健看護学部 前任准教授）

10月28日（木） With コロナ時代！

～高齢者を襲うコロナフレイルと予防法～

講師：榎本 佳子さん（順天堂大学保健看護学部 講師）



【令和2年度 講座の様子】

3 これまでの経過、補足情報 等

- ・新型コロナウイルスの感染状況により延期または中止になる可能性があります。